

《令和2年度 会計課 組織目標》

様式2

◆目標管理者		
会計管理者	北相模	政和

◆部局の役割・目標像

会計規則等に基づく適正な会計処理審査と公金の安全かつ確実な保管に努めます。
◆効率的かつ正確な会計事務に努め、適正な会計処理の審査と迅速な支払い手続きを行います。 ・業務の効率化を図るため、会計業務の一部アウトソーシングを行います。
◆市民の共有財産である公金を適正に管理・運用します。 ・必要な資金の状況を的確に把握し、より多くの資金を定期預金等の安全かつ有利な方法で運用します。

◆職員数および当初予算規模

所 属	職 員 数 (人)				当 初 予 算 規 模 (千 円)		
	正 規	再 任 用	会 計 年 度	合 計	歳 出 (職員費を除く)	特 定 財 源	一 般 財 源
経営層(部長、副部長)	1	0	0	1	—	—	—
会計課	7	0	2	9	37,894		37,894
合 計	8	0	2	10	37,894	0	37,894

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R2 重点施策
1	・「第3次草津市行政システム改革推進計画」のアクション・プランに「公民連携手法の活用」および「内部事務の効率化」として、これまで外部委託が進んでいなかった業務について、段階的にアウトソーシングを導入することが位置づけられています。 ・総合窓口との一体的な推進は延期となりましたが、費用対効果を見極め、限られた経費の中で取り組みが可能な範囲での業務委託の検討は、引き続き課題となっています。	①	公金の支払手続きに関する支出関係調書等の審査業務を中心に、会計業務の段階的なアウトソーシングを進めます。	【取組】 公金の支払手続きに関する審査業務のアウトソーシングを図ります。 【成果目標】 ・審査業務のアウトソーシングを図ります。業者選定については、プロポーザル方式により執行します。 ①・アウトソーシング後も円滑に審査業務を遂行する必要があることから、業務委託開始前に調整期間を設け、受託者の審査業務習熟に努めます。 ・受託者の審査業務における理解度を確保するため、業務遂行にかかるマニュアルの提出を求め、必要な指導を行います。		分野:行財政マネジメント 施策:健全な財政運営の維持	
2	マイナス金利政策の影響により、各種預金の金利等が下落しており、公金の運用には困難な状況が続くものと見込まれています。	②	新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化はもちろんのこと、今後の景気や金融政策の動向を注視しつつ、低金利の状況下においても確実かつ有利な公金運用に努めます。	② 低金利の状況下においても確実かつ有利な公金運用に努めます。		分野:行財政マネジメント 施策:健全な財政運営の維持	